第１学年　　体育科学習指導案

令和３年１１月２９日（月）
授業者　　Ｔ１田中　太朗
Ｔ２大西　圭司

１　単元名　しゃちっ子にんじゅつ学園　～とびばこの巻～　（跳び箱を使った運動遊び）

２　授業づくりの構想

（１）運動の持つ特性

跳び箱を使った運動遊びは，跳び箱を使って跳び上がったり跳び下りたり跳び越したりすることを楽しむ運動である。また，踏み切り，着手，足の開閉，着地などによって，いろいろな動き方ができる運動である。

この運動は，自分ができる動きで気持ちよく跳び越えたり，新しい動きに挑戦したりする楽しさを味わうことができ，リズミカルに跳んだり，空中でバランスをとったり，跳び下りて着地したりといろいろな動きを楽しめる運動である。

跳び箱を使った運動遊びを通して，逆さ感覚，リズム感覚，踏み切り感覚，腕支持感覚，高さ感覚，跳躍力などの基礎感覚が養われることが期待される。

（２）児童の実態

本学級の児童は，多くの児童が体育が好きと答えている。学校生活にも慣れ，外遊びも活発にするようになり，いろいろな遊びに挑戦している。ジャングルジムに上り，高いところから跳んで下りたり，タイヤの上によじ登って越したりするなど，跳び箱遊びに関わる運動にも興味深く取り組む姿が見られる。しかし，運動全般が苦手で，逆さまになることや障害物が怖いと感じている児童は多く，バランスを崩して倒れたり，思い切って登れなかったりする子も少なくない。

子どもたちは，幼稚園や保育園での跳び箱遊びや生活経験で，跳び箱を跳び越える楽しさを味わってきている。また，これまでの「鉄棒を使った運動遊び」などの他の単元を通して，運動遊びの動き方を知り，友達のよい動きを見つけることで自分の動きが高まる良さも味わってきている。

（３）運動（学習内容）の系統性

第１，２学年	第３，４学年	第５，６学年
B　器械・器具を使っての運動遊び ア　固定施設を使った運動遊び イ　マットを使った運動遊び ウ　鉄棒を使った運動遊び エ　跳び箱を使った運動遊び	B　器械運動 ア　マット運動 イ　鉄棒運動 ウ　跳び箱運動	B　器械運動 ア　マット運動 イ　鉄棒運動 ウ　跳び箱運動

（４）単元の目標

【知識及び技能】
跳び箱遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，跳び箱を使って跳び乗りや跳び下りをしたり，馬跳びやタイヤ跳びをしたりするなどして遊ぶことができるようにする。

【思考力，判断力，表現力等】
器械・器具を用いた簡単な遊びを工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。

【学びに向かう力，人間性等】
跳び箱遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り，誰とでも仲よく運動をしたり，場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

（5）学びへの働きかけ（指導の意図）

１　単元構成　「児童が運動に浸ることのできるような世界」

本単元は，「しゃちっ子にんじゅつ学園～とびばこの巻～」と題し，忍者のように軽々と跳び箱を跳び越えたり，音を立てないようにかっこよく着地したりすることができるようにすることを目標にして活動内容や学習の流れを構成している。４つの場を用意し，それぞれの場で場に合ったスキルを身に付けていけるようにした。活動はグループで行い，時間で区切り，１時間の中で全員が４つの場を経験できるようにしていく。活動②では，場はそのままで，いろいろな乗り方や下り方に挑戦したり，自己新記録（手をつく回数，ジャンプする距離）を目指したりできる時間とする。その際，アドバイスなど教え合いの姿を大切にし，コツやポイントを見つけられるように教師が促していきたい。また，児童が意欲的に学習を進めていけるようにワークシートを用意し，技をクリアすることができたらシールを貼っていくようにする。子どもたちが声をかけ合い，楽しみながら学習に取り組み，お互いを高め合い，友達や自己の成長を喜べる学習にしていきたい。

２　学習用具・掲示物　「わたしたちの体育の活用」

学習の中で見つけたコツやポイントはアドバイスボートに書き溜めていくようにする。アドバイスボードは各場の近くに置き，技に取り組む児童のヒントとなるようにしていきたい。また，わたしたちの体育に載っている「やってみよう」のやり方や，「忍者修行タイム」で取り入れたい「いろいろなのりかたや下りかた」の例示を拡大印刷し掲示する。

３　場の設定　「つけたい力を明確にした場」

跳び箱に必要な助走・踏み切り・支持・着地の一連の流れを分割して身に付けられるように４つの場を設定した。「フワッ・ピタッちゃくちの術」では着地の技能，「トンッ・バンッカエルの術」では踏み切り，支持，着地までをリズミカルに行うこと，「バンッ・ピタッとびの術」では両足をそろえて踏み切る技能，「トンッ・バンッうまのりの術」では助走からの支持，体重をのせて支持する技能が身に付くことを期待している。その際，指導の工夫として「トンッ・パッ・フワッ」などオノマトペを取り入れていきたい。

４　言語活動　「キラリタイム」

学習において指導者は意図的にポイント（情報）とコツ（感覚）を明確に使い分ける。ポイントを共有するために，掲示物（友達の気づき），グループ学習（他者との対話）を行い，コツを言語化するために自己の学びを振り返ったり，友達にアドバイスをしたりする。共有したことや友だちからのアドバイスはアドバイスボードに記録していく。

（6）単元の「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方

関わり	低学年	具体的な活動・姿
する	・跳び箱を使って跳び乗りや跳び下りをする。 〈知識及び技能エ〉 ・馬跳びやタイヤ跳びをしたりする。〈知識及び技能エ〉 ・遊び方を工夫する。〈思考力，判断力，表現力等（２）〉 ・跳び箱を使った運動遊びに進んで取り組む。 〈学びに向かう力，人間性等（３）〉	・遠くにねらったところに着地する。 ・両足をそろえて踏み切る，着地する。 ・踏み切り，支持，着地をリズムよく行う。 ・遠くに手をつく。 ・いろいろな乗り方，下り方に挑戦する。 ・グループで教え合い，進んで活動する。
みる	・友達のよい動きを見付ける。〈思考力，判断力，表現力等イ〉	・掲示物（友達の気付き）と比べて，自己の課題を見付ける。 ・学習の記録をわたしたちの体育に書く。
支える	・考えたことを友達に伝える。〈思考力，判断力，表現力等イ〉 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり，学習カードに書いたりする。〈思考力，判断力，表現力等イ〉 ・順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動する。 〈学びに向かう力，人間性等（３）〉 ・跳び箱の準備や片付けを，友達と一緒にする。 〈学びに向かう力，人間性等ウ〉	・振り返りの時間に，運動のポイントや友達の動きの良さを発表する。 ・グループの友達にアドバイスをする。 ・グループの友達のアドバイスや技の工夫を認める。 ・進んで跳び箱の準備や片付けを行う。
知る	・踏み越し跳び，支持でまたぎ乗り・またぎ下り，支持で跳び乗り･跳び下り，馬跳び，タイヤ跳びなどの跳び箱を使った運動遊びの行い方を知る。〈知識及び技能エ〉	・それぞれの場の運動遊びの行い方を知る。 ・跳び箱を使った運動遊びの行い方を映像などで調べる。

（7）単元の流れ及び評価の計画

<table>
<tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4（本時）</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr>
<tr><td>主なねらい</td><td>学習の進め方を理解しよう。</td><td colspan="3">「やってみよう」で養った感覚を生かし，いろいろな跳び箱遊びを行おう。</td><td colspan="4">活動①で身に付けた感覚や動きを生かし，
遊び方を工夫しよう。</td></tr>
<tr><td>核となる学習内容</td><td>・学習のねらいと進め方
・問いづくり</td><td>体を支持し，跳び乗ったり跳び下りたりする</td><td>リズミカルな一連の動き</td><td>できるだけ高く跳び，着地を行う</td><td colspan="4">乗り方，下りかたの工夫
自己記録への挑戦やできばえのレベルアップ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">学習活動</td><td rowspan="3">・オリエンテーション
・準備の仕方，安全な活動の仕方
・試しの跳び</td><td colspan="7">＜やってみよう＞（感覚づくり）
アザラシ歩き　クマ歩き　うさぎとび　ワニ歩き
カエルの足うち</td></tr>
<tr><td colspan="3">活動①
いろいろなとびばこあそびをしよう。

忍たまタイム
「フワッ・ピタッちゃくちの術」
遠くに・ねらったところに・ふわっと着地

「トンッ・バンッカエルの術」
踏み切り・支持・着地をリズムよく

「バンッ・ピタッとびの術」
両足をそろえて踏み切り・着地

「トンッ・バンッうまのりの術」
遠くに手をつく

キラリタイム

忍者修行タイム</td><td colspan="3">活動②
とびばこあそびをくふうしよう。

グループに分かれて，練習を行う。
「スペシャル修行」として開脚跳びの場に挑戦する。</td><td>しゃちっ子にんじゅつ学園の
そつぎょうにんていしけんをしよう</td></tr>
<tr><td colspan="7">振り返り</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の計画</td><td>知</td><td></td><td>③（観察）</td><td></td><td>②（観察）</td><td>①（観察）</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>思</td><td></td><td>②（観察）</td><td></td><td>②（観察）</td><td></td><td></td><td>①（観察）</td><td>①
（観察・ipad）</td></tr>
<tr><td>態</td><td>①（観察）</td><td></td><td>③（観察）</td><td></td><td>④（観察）</td><td>②（観察）</td><td></td><td></td></tr>
</table>

具体的な評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①跳び箱遊びの行い方を言ったり，書いたりしている。 ②跳び乗りや跳び下りをして遊ぶことができる。 ③手をついてまたぎ乗りやまたぎ下りをして遊ぶことができる。	①跳び箱遊びの行い方を知り，跳び箱遊びを楽しみ，跳び方を工夫している。 ②友だちのよい動きや変化を見付けたり，考えたりしたことを友だちに伝えている。	①跳び箱遊びに積極的に取り組もうとしている。 ②順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしている。 ③友だちの考えを認めようとしている。 ④用具の準備や片付けなど安全に気を付けている。